



札幌市立平岡小学校

保健室

2025. 9. 9

NO.6

2 学期が始まって 2 週間が過ぎましたが、夏休み明け熱を出して欠席したり、早退したりしたお子さんが普段より多くみられました。昼間はまだ暑いですが、朝晩は涼しくなってきました。季節の変わり目、体調を崩すお子さんが増えてきているのかもしれません。



伝染性紅斑(りんご病)



先週から、伝染性紅斑(りんご病)にかかっているお子さんが数名出ています。伝染性紅斑は、頬がりんごのように赤くなることから、一般に「りんご病」とも呼ばれています。

札幌市の HP にも、「無症状の場合もあります。発疹が出現する頃には、免疫機能が正常な場合、ほとんど感染力がありません。一度感染すると、修正免疫を獲得すると考えられています。」と書かれています。かかっても出席停止にはなりません。体調が良ければ、登校しても構いません。

2020 年から 2023 年までの新型コロナウイルス感染症が流行していた時期には札幌市の患者数はほぼ 0 だったようですが、2024 年から感染者が出始め、2025 年 3 月～現在まで、警報レベルの感染者数となっているそうです。(先週から減少してきているようです。)

*札幌市 HP 「札幌市における感染症の発生状況参照」

伝染性紅斑の特徴

感染してから 10～20 日後にかぜの症状がみられ、頬に蝶翼状(蝶の羽のような)の紅斑ができます。続いて体や手足に網目状やレース状の発疹が広がります。これらの発疹は、1 週間程度で消えます。ほとんどは合併症を起こすことなく自然に回復します。(厚生労働省 HP より抜粋)



応急手当で少し気を付けること

保健室でも使用することが多い保冷剤ですが、正しく使用することが重要です。ご家庭で使用する場合もご注意ください。

<保冷材の使い方>

やけど、捻挫、打撲などで患部を冷やすときに、氷や保冷剤を使うことがあります。氷を直接当てたり、冷やしすぎたりすると、皮膚の組織が凍って、血流も悪くなり、凍傷を引き起こします。また、眼球(目)の冷やしすぎは良くありません。冷やすときは保冷剤や氷は使わず、冷たくしたタオルなどで冷やします。